

小学生の時期に

校長 中島 清昌

2月は如月(きさらぎ)と言います。1年で一番寒いので着物を更に着るという着更着(きさらぎ)から来ているとも言われます。今年は、前半に寒い日が続きましたが、最近は、暖かい日が続いています。気温に関係なく、委員会や係活動、体力作りを行う子どもたちには遅しさを感じます。外で、元気に遊んだりする良い習慣が、知らず知らずのうちに強い心と体を作っていくのだろうと思います。

昔から「鉄は熱いうちに打て」ということわざがあります。これは、鉄は熱して軟らかいうちに鍛えて有用な形に作りあげることから、人は柔軟性のある若いうちに鍛えることが大事だという、また、物事は時期を逃さないうちに実行しないと成功しにくいという教えです。

現代は、いろいろなことが便利になりました。苦勞しなくても物は手に入る、移動するのも歩かずに車で疲れない、相手の都合に合わせなくても、ラインやメールで用件を伝えることができる等々。賢く使えば快適に過ごすことができます。子どもたちも便利な世の中に慣れてしまい、苦勞して何かを得る経験が少なくなり、学習面でも筋道を立てて考えたり、一つの事に集中して取り組んだりするのを嫌がる傾向もあります。

苦勞して何かを得ることや他者を意識して生きること、他者を思いやる心やトラブルを解決していく力、基礎体力などを小学生の今、身に付けさせたいものです。

物が豊かになり、便利で大人が子どもに手を貸しすぎることで、知らず知らずのうちに子どもを弱々しい人間に育てていないかと思うことがあります。子どもたちには、失敗したり苦勞をしたり、自分の力で物事を解決しようとしていたりして、強くて逞しい人間に育ててほしいと思います。

逞しく育つためには、意識して体力作りを行う事も大切です。学校では、日頃の体育の授業の他に、運動会や持久走大会等に合わせて、カードを活用した体力作りを行っています。



学校での体力づくりの他に、家庭で出来る体力づくりがあります。それは、子どもたちが歩いて学校まで来ることです。「足は第二の心臓」とも言われ、歩くと全身の血行もよくなり、血管がリズムカルに動き、全身の新陳代謝が活発になります。また、歩くことで頭の回転や記憶力もよくなります。表情もよくなります。さらに、考え方がポジティブになり、元気になります。

小中学生の体ができるこの時期は、できるだけ歩いて登校させ、気力・体力の向上を図れたらと考えています。



☆表彰関係☆ おめでとうございます！

【SDGsポスター展】〔特別賞〕浦 悠乃さん(5年)

【奄美市美展】〔田中一村記念美術館賞〕四本ここ菜さん(4年)

〔奨励賞〕前田 結月さん(2年)・金子 由芽さん(5年)・伊村 夢花さん(6年)

〔特選〕原之園 ひなたさん(2年)・瀬名波 希さん(5年)



5年生 総合

『さとうきびからの贈り物』

昨年度まで製糖工場見学ができなかったのですが、今年度は富国製糖を見学し、さとうきびを刈り、黒糖作りを行うなど、充実した体験ができました。

22日には4年生が来年度に向けた植えを行いました。

来年度も楽しみです。



さざ波バンドコンサート



さざ波バンドお別れコンサート

4日にさざ波バンドがお別れコンサートをアマホームPLAZAで開催しました。6年生にとってはラストステージとなりました。低学年から高学年まで見事な演奏で、会場の皆さんを魅了しました。今年もさざ波バンドは演奏依頼が殺到しました。そして、可能な限り出演してきました。演奏する度にレベルを上げ、他校からの反響も大きなものでした。

今年度は6年生が多かったので、来年度、がらりと雰囲気が変わります。ニューさざ波バンドも大いに期待したいと思います。最後までやり遂げた6年生、本当にお疲れ様でした。

入学説明会

7日に入学説明会を行いました。現段階での入学予定者は43名。2クラスを予定しています。

入学説明会では、「子育て講座」として、奄美市教育長職務代理者であり、なつかしや家店主の恵上イサ子先生を講師としてお招きし、食の大切さと子育てについてご講演いただきました。全保護者に聞いていただきたいくらいすばらしい内容のご講演でした。

今回は、体験入学も復活し、学校探検や4年生による読み聞かせを行いました。4年生もとてもよく頑張りました。

学校としても今から入学が待ち遠しいです。

